

第2回公立大学法人山形県立保健医療大学 教育研究審議会 議事録

- ・ 日 時 令和6年6月18日(火) 17:30 ~ 19:05
- ・ 場 所 (オンライン)
- ・ 出席者 上月議長(学長)、熊谷委員(理事)、遠藤委員(理事)、
佐藤委員(理事)、加藤委員(研究科長)、安保委員(看護学科長)、
鈴木委員(理学療法学科長)、菊池委員(図書館長)、
篠田委員、菅井委員、大沼委員
- ・ 事務局 原田事務局次長、庄司総務課長、漆山教務学生課長、
工藤総務企画主査、佐藤主査(総務課)
- ・ 欠席者 ー

1 開 会

2 議事録署名人の指名

- ・ 審議会議長である上月議長が、議事録署名人として遠藤委員並びに鈴木委員を指名した。

3 前回議事録の確認

- ・ 資料1により、第1回 教育研究審議会の議事録が確認された。

4 審議事項

(1) 令和5年度業務実績報告書について

- ・ 工藤総務企画主査から資料2により、令和5年度業務実績報告書について、令和5年度は、第3期中期計画の3年目として、第2期の成果を踏まえて、第3期中期計画の確実な実現を図るために、年度計画の着実な実行に努めたことを補足し、下記の通り概要の説明がなされた。
- ・ 計画事項196項目中、年度計画を上回って実施しているS評価の項目が10項目、年度計画を十分に実施しているというA評価の項目が186項目、年度計画を十分には実施していないというB評価及び、年度計画を実施していないというC評価の項目がそれぞれ0項目となり、全ての計画が、S評価またはA評価になった。
- ・ 全体として年度計画通りの取り組みが行われ、所期の目的通り順調に業務を達成する成果を収めることができた。
- ・ 上記、審議が諮られ、異議なく承認された。

(2) 令和6年度年度計画について

- ・ 工藤総務企画主査から資料3により、令和6年度計画については、昨年度末、学内の評価委員会や理事会で協議のうえ作成したものであること、本年度最初の定

例の審議会が本日となったことで、このタイミングで協議事項として挙げていることを補足し、下記のとおり概要の説明がなされた。

- ・ 本計画は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間の計画として定めたものであり、主な新項目として、IR室の設置により、教学マネジメント体制を整えることや本学の紀要をジャーナルとして見直した。
- ・ 計画項目について令和5年度計画の184項目から149項目に整理した。(大項目のうち「第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置」から「第6 その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置」の5項目の主な取り組みについて説明がなされた)
- ・ 上記、審議が諮られ、異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 令和5年度決算について

- ・ 総務課佐藤主査から下記説明をしながら報告がなされた。
- ・ 資料4-1 令和5年度決算の概要について、公立大学法人は、事業年度の終了後3ヶ月以内に設立団体の長に財務諸表等を提出し承認を受けることになっており、本年度は、本日まで報告させていただいた後、明後日6月20日に開催される経営審議会の審議を経て、6月末まで知事に提出する予定であることが説明された。
- ・ 地方独立行政法人会計基準の改訂に伴い、(貸借対照表の)負債の部の資産見返負債が廃止されたこと、この処理に伴い純資産の部の利益が大きく増えていること、また、(損益計算書の)経常収益において、会計上、固定資産の取得に要した費用も本年度の収益として計上されるといった変更点もあり、施設整備の増により運営交付金収益が増えていること、加えて、今年度は臨時利益を計上していることなどを説明し、そのほかキャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類の概要についての説明がなされた。
- ・ 資料4-2～資料4-4については前述の資料4-1の詳細資料となっていることを補足し、資料4-5 監査報告書について、今月6月5日、6日にかけて監査が実施され、監事からは特に指摘すべきような事項はなかった旨報告を受けていることが説明された。

(2) 令和6年度入学者の状況について

- ・ 漆山教務学生課長から、資料5に基づき、令和6年度入学者の状況について、学部の状況、大学院博士前期課程の状況、同博士後期課程の状況、科目等履修生の状況について報告がなされた。

【上月学長による補足説明】

- ・ 学部生の県内者割合は71.2%で、昨年度より上昇した。これは、昨年度は県外受験者数が多かったことから一般入試での県外合格者も増え、結果的に県内者の割合が少なかったということだったが、本年度はその反動で県外受験者が昨年度より少なく、県内者の割合が2年前程度の状況に戻り、結果的に増加したということ。

- ・ 本学に入學した優秀な学生であるため、県内から入學した学生については卒業のときにできるだけ県内の良い病院などに勤めていただきたいので、様々な取り組みを行っている。
 - ・ 昨年の県内合格者は少ないが、卒業するまでの間、県内病院の紹介や就職の募集があった際は、直ぐに学生に周知し、県内就職を誘導する対策を昨年から行っている。
 - ・ 大学院に関しては、博士前期課程が定員に満たない状況で、コロナ禍で入学者が減ったこともあるが、コロナ禍が明けても回復されていない。県外からは、知名度の高い先生の下に入學してくる方がいるが、本学の学部生から進学する方が少なく、日常で教わっている本学の学生が進学してこないという現状がある。
 - ・ これに関しては、教員から学生に対し、授業時間中に大学院の重要性や研究の楽しさなどをしっかり伝えるようお願いし、現在、全学的に取り組んでいるところである。
 - ・ 社会人の大学院生は従来通り多いが、社会人の方が勤務先からどんどん大学院に入學できるように、そういったご理解、ご協力も病院・施設等の方々をお願いしている。
- (3) 令和5年度卒業者の状況について
- ・ 漆山教務学生課長から、資料6に基づき、令和5年度卒業者の状況について、国家試験受験状況、就職・進学状況の説明とともに報告がなされた。
- 【上月学長による補足説明】
- ・ 国家試験については、すべての学科で合格率100%を目指し、教員の方々にも指導をお願いしている。体調不良等で不合格になる止むを得ない学生もいるが、元々成績が良好ではない学生に関しては、2年生、3年生のうちにしっかりと頑張ってもらえるような指導態勢が必要であるため、対策を考えている。
 - ・ 就職に関しては、県内就職率が50%程度という状況を鑑みると、県外就職が多い状況になっているということだが、本学だけの事象ではないかもしれないが、コロナ禍が明けて、首都圏への流動人口が増加していることを考えると、今後も同様の状況に陥っていくことが想定される。できるだけ、県内の病院・施設等への就職に繋がるよう、本年度は、病院等説明会の時はすべての病院・施設等にプレゼンをしていただくなど、内容を変えて実施することとしている。
- (4) 令和5年度教員業績評価実施結果について
- ・ 原田事務局次長から、資料6に基づき、令和5年度教員業績評価実施結果について、評価対象者、評価者評価の結果の説明に加え、最も優れた業績を上げた教員1名を最優秀者として、また、39歳以下の若手教員のうち最も優れた業績を上げた教員1名を若手教員奨励賞として表彰状を授与し、併せて、特別研究費を交付していることを補足し、報告がなされた。
- (5) 教員人事について
- ・ 原田事務局次長から、画面共有の資料に基づき、教員の人事について、①看護学

科（基礎看護学領域）の教授又は准教授の案件、②看護学科（老年看護学領域）の教授についての案件、③看護学科（地域看護学領域）の教授の案件、④看護学科（成人急性期看護学領域）の教授又は准教授の案件について、いずれも退職者を補充する案件で、教員選考委員会における選考の進捗に合わせ、任用適任者が決定した後の、直近の教育研究審議会に人事案件を審議案件として提案していく旨の説明とともに、報告がなされた。

6 その他

7 閉 会

※ 配布資料

- 資料 1 第 1 回 教育研究審議会 議事録
- 資料 2 令和 5 年度業務実績報告書について
- 資料 3 令和 6 年度年度計画について
- 資料 4-1 令和 5 年度決算の概要
- 資料 4-2 令和 5 年度財務諸表
- 資料 4-3 令和 5 年度決算報告書
- 資料 4-4 令和 5 年度事業報告書
- 資料 4-5 令和 5 年度監査報告
- 資料 5 令和 6 年度入学者の状況について
- 資料 6 令和 5 年度卒業者の状況について
- 資料 7 令和 5 年度教員業績評価実施結果について
- 画面共有 教員人事について

議事録署名人

議 長
